

## 令和3年度 第1回郡上市図書館協議会議事録

期 日：令和3年8月3日（火）

会 場：白鳥ふれあい創造館 207号室

出席委員：池戸千賀子氏、一柳純子氏、伊藤直樹、井藤一樹氏、  
上野聡氏、宗宮昭雅氏、三上知帆氏

事務局：和田隆男社会教育課長、片桐一男図書館長、青木千尋

### 1. 開会

自己紹介

### 2. 図書館協議会委員長あいさつ

### 3. 議題

#### (1) 令和2年度郡上市図書館活動報告

片 桐) 要覧の内容を紹介。

昨年度、前図書館長畑中さんが文部科学大臣賞を受賞したことを報告。

約27万冊の蔵書を所蔵しており、ほぼ半数が児童書。郡上市図書館の運営方針に基づき、児童書を多く収集している。昨年度の利用状況をみても児童書の利用割合が多いので、児童書が有効活用されている。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で4、5月に臨時休館した。その影響もあり、昨年度は例年に比べ、貸出数、入館者数ともに落ちている。貸出に関しても、一昨年度と比較して7万5千冊ほど減少している。入館者数も3万2千人ほど少ない。

図書館の年代別利用者数をみると、13～30才が圧倒的に少ない。ほかに関心が向くこと、時間がない等の理由が考えられる。少しでも、この年代を取り込めたらと思う。30～60才の層は圧倒的に女性が多く、男性が図書館ユーザーとなるのは、定年後の60才以降が多い印象。

利用は、県内他市と比べても多いほうだが、登録者数を見ても、まだまだ開拓の余地はあると考えている。

学校貸出等についても新型コロナウイルス感染症の影響で実施していない学校もあり、貸出数が減少している。今年度についても、まだ実施できていない学校もある。

池 戸) おとなの学校について参加された方から、自由に参加できていい機会だったと聞いている。

井 藤) おとなの学校も10年目になるが、いろんな分野があり、自由に参加できて良い事業である。

図書館利用に関して、新型コロナウイルス感染症の影響は出ているのか？

青 木) 学校貸出がない分、貸出冊数が減っている。また流行り始めたころは図書館に行くのも少し控えているという話も聞いた。最近はそのほどそういう話は聞かなくなった。ただ以前来館されていた方で、今は利用されていない方もいるので、少なからず影響はある。

井 藤) 本当はこういう機会にこそ、家読を勧められると良いと思う。郡上市図書館では特に子どもの読書を重要視し、所蔵も多く、小学生以下の利用は多いが、中高生、若年層の利用が少ないのは以前からの悩みである。高齢者の読書についてはある程度定着したと思うが、なかなか難しい問題である。家読をすすめてはいるが、定着はなかなか難しい。またどのくらい実施されているかということも数値化することも難しい。

片 桐) おとなの学校について付け加える。長滝神社で行った白山信仰についての講座は市内外からの参加があり、40人ほどの参加があった。利用者層の拡大については、まだまだいろいろと可能性はある。

## (2) 令和3年度郡上市図書館運営方針及び事業計画について

片 桐) 子どもの読書を特に大切にし、家読を柱として人生を通じて読書をするをおすすめしている。これまでは貸出冊数、利用者数を重要視してきた。しかし数値も大切であるが、地域に貢献できる、地域に役立つ図書館であることを目指したい。「誰もが」という部分は読書バリアフリー法に基づいて職員も研修し、図書館利用が困難な方へのサービスを考えていきたい。郡上市では2館5分室体制であることが、「どこでも」利用できることの強みになると考えている。今後は電子図書館についても検討しなければならないと考えているが、何年かじっくりと検討を重ねて進めていく予定である。

事業計画については、運営方針に沿って例年通り進めていきたいと考えている。

今年度は白鳥ふれあい創造館の空調工事があり、10月いっぱい本館児童書コーナーが出入りできなくなる。工夫をしてなるべく支障がないように開館したいと考えている。

池 戸) 市民のだれもがというのは大切なことだと思うが、難聴の子への読み聞かせでおすすめの本等はあるか。

青 木) 難聴の子への読み聞かせとなると難しい。

宗 宮) 他市の学校等でそういう事例がないか調べてみる。

三 上) 転居が多く、いくつかほかの図書館を利用したことがあるが、不便だと感じたこと。7館あるが、市域が広いので子どもだけでそれぞれの館を利用することが難しい。ネット予約をする際に、予約するためのID受付に時間がかかりすぎる。今の子どもたちは借りたいときにすぐ予約できないと、待てない。タイムラグがあるのは時代にあっていないと思う。そのあたりを改善することが、若年層の取り込みにもつながるのではないかと思う。図書館システムの検索は1字1句間違えずに検索しないといけないのでなかなか難しい。図書館日より等に、QRコードがついていると子どもが自分で調べられ、便利だと思う。

青 木) 検索の際はひらがなで検索すると検索できるが、なかなかそういった検索ルールを

理解するのは難しいかもしれない。まずは QR コードの件を考えてみたい。

伊 藤) 園においての出前授業、ブックトーク、郡上北高校の絵本講座、この 3 点について  
どういった取り組みなのか知りたい。

青 木) 園においての出前講座は、ご依頼に応じて家庭教育学級や先生に向けて読み聞かせ  
の大切さや絵本の選び方などのお話をさせていただく。ブックトークは、授業時間を 1 コ  
マ使って 1 つのテーマに沿って 5、6 冊の本を紹介するもの。郡上北高校の 3 年生に向け  
て、絵本の選び方や読み聞かせの手法を説明させていただいている。

宗 宮) 13 歳から 20 代の利用が少ない点で、小学生までは身近に本があり、いつでも読め  
るようになっているが、中学生になると突然主体的に自分で本を読まなければならなくな  
る。小学校高学年から主体的な読書ができるよう図書館へ行く習慣づけなど準備が必要で  
はないか。学童保育で図書館を利用されているので、そういった場面も子どもが本を読むよ  
うになるチャンスだと思う。

池 戸) 前回の協議会で学校貸出に学校の関心が低いという話をしたら、図書館からの働き  
かけにより、学校の協力をえられるようになった。

井 藤) 国会図書館から資料を取り寄せたが、非常に便利だった。

### (3) その他

青 木) 配布物 (図書館だより (大人向け、児童向け)、おとなの学校のチラシ、夏休み子  
ども教室のチラシ) の紹介。

片 桐) 戦争体験の体験記の展示、郡上高校の生徒作成カードゲームの展示を紹介。  
また何かご意見があれば、いつでも図書館へご連絡ください。

4. 社会教育課長あいさつ

5. 閉会